

## 定例記者会見 市長コメント (概要)

### ① 令和4年12月釜石市議会定例会付議事件について(資料1)

12月5日に招集する定例会に付議する事件は14件で、内訳は、報告1件、条例6件、補正予算6件、その他の議案1件。

「条例」では、職員の定年年齢を段階的に引き上げるための関係条例のほか、各給与等に関する条例の改正を提案する。

令和4年度12月補正予算についてである。

資料の1-3「予算の概要と主要事業」の1ページをご覧ください。

今議会に提案する補正予算は、一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計、介護保険事業特別会計、水道事業会計、公共下水道事業会計の6件である。

一般会計の補正額は17億300万円の増額で、補正後の予算額を228億8,800万円としたもの。

今議会における補正予算では、新型コロナウイルス感染症対策の各種支援事業などを計上するとともに、新庁舎建設事業や新たな高等教育機関の開校準備にかかる債務負担行為の設定などを行っている。また、新規事業は、資料8ページの通り4件、1億3,500万円を計上している。

今回提案する予算のうち、主要な事業を資料に沿ってご説明する。

資料3ページ、番号2の「新型コロナウイルス感染症公共交通対策事業」、予算額150万円は、新型コロナウイルス感染症の影響下における持続的な地域公共交通の維持確保を図るため、利用者の減少による影響等を受けているバス事業者やタクシー事業者に対し、事業の継続に向けた給付金を支給することで、車両の維持管理等にかかる負担を軽減しようとするもの。

番号3の「農業物価高騰対策緊急支援事業補助金」、予算額575万円、番号4の「畜産業物価高騰対策緊急支援事業補助金」、予算額225万円は、社会状況に伴う物価高騰の影響により、肥料や飼料、原油などの価格が上昇し、経営の負担が大きくなっていることから、農業者や畜産農家に対して肥料代や飼料代、燃料・光熱費の一部を支援することで、生産意欲の向上と経営の安定化を図ろうとするもの。

資料4ページ、番号6の「新型コロナウイルス感染症経済対策事業」、予算額1,000万円は、新型コロナウイルス感染症の拡大及び原油価格や物価高騰の影響を受ける飲食店等を支援するため、会食の機会を創出することで市内消費を喚起するもの。

資料5ページ、番号10の「学校給食センター運営費」、予算額923万8千円は、原油価格や物価の高騰により食材の値上げが行われる中、学校給食費の保護者負担軽減を図り、栄養バランスや量を保った学校給食を引き続き実施するため、今後の食材費の値上がり見込分を補うと

ともに、電気料の値上がりに対応して光熱水費を増額し、学校給食の維持・安定を図るもの。

資料 6 ページ、番号 12 の債務負担行為「高等教育機関設置事業」限度額 2 億 709 万 9 千円は、学校法人龍澤学館の高等教育機関開校準備のため、来年度開校する日本語学科に対応した教育センター棟の内装や設備等の改修工事にかかる予算を増額するもの。

番号 13 の債務負担行為「新庁舎建設事業」、限度額 40 億 4,407 万 4 千円は、現市庁舎の老朽化、狭隘化、分散化を解消し、継続的な市政運営や住民サービスの向上、防災拠点としての機能充足などを目的として、新庁舎の建設工事に着手するもの。

資料 7 ページ、番号 15 の債務負担行為「旧小佐野中学校解体事業」、限度額 2 億 342 万 7 千円は、老朽化が著しい旧小佐野中学校の校舎及び体育館等を解体し、地域の安全を確保するもの。その他の主要な事業については、資料 3 ページ以降をご覧願う。

なお、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源としている事業は、資料の 18 ページにまとめているのでご参照願う。

## ② 新型コロナウイルス感染症対策について（資料 2）

釜石保健所管内における新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は、11 月 23 日には、当管内では 1 日あたりの新規感染者数が過去最多となる 111 名に上り、県内においても 11 月 29 日には、1 日あたりの新規感染者が 2,248 名に上り、県内での過去最多を更新し、「第 8 波」に直面している。

さらに、今年の冬は、インフルエンザの同時流行にも十分な注意が必要なことから、市民の皆様には、改めて、基本的な感染防止対策の徹底に努めていただくようお願いする。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、医療機関への負荷が高まっているので、医療機関を受診される際には、できる限り平日や日中に相談や受診されるとともに、感染を拡大させないために、発熱や症状が見られるときには外出を控え、症状が続く場合には、医療機関に電話相談のうえ受診されるようお願いする。

また、感染の不安がある方は、国が承認した検査キットを購入し、ご自分で検査されるか、市内 4 か所の調剤薬局で行っている無料検査を活用されるようお願いする。

次に、11 月 27 日現在での新型コロナワクチンの接種状況についてである。

5 歳以上の方への 3 回目の追加接種の状況は、接種率は 81.4%。

4 回目の追加接種の 60 歳以上の方の接種率は 86.7%。

次に、オミクロン株対応ワクチンの追加接種であるが、対象者は 12 歳以上で、2 回目から 4 回目までの接種を終え、最後の接種から 3 か月以上経過している方となり、接種率は 24.6%となっている。

オミクロン株対応ワクチンの追加接種を希望される方については、年内に接種できるよう引き続き取り組んでまいります。

次に、10 月から新たに対象となった生後 6 か月以上 4 歳以下の乳幼児の初回接種について

は、特例臨時接種期間とされる令和5年3月末までに3回目の接種が終えられるよう、釜石医師会及び関係医療機関のご協力をいただき接種体制を確保している。

新型コロナウイルス感染症の発症や重症化を防ぐ効果を持続させるためにも、ワクチン接種を希望されている方は、できるだけ早目に接種していただくようお願いする。

次に、現在実施している新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困窮されている方への支援や、国の緊急対策としての「子育て世帯への支援」のほか、地域経済の再生・活性化を図るための「エネルギー価格高騰対策支援金」などの事業者支援については、別紙資料の2にまとめているのでご参照願う。

### ③ 専門学校の開校に向けた準備状況について（資料3）

令和3年9月に、学校法人龍澤学館と包括連携協定を締結し、当市への専門学校設置に向けた協議を進めてきた。

本年4月には、同法人理事会において、令和5年10月の開校と留学生向け日本語学科の設置、並びに、令和6年4月には、理学療法学科の設置が正式に決定されたところである。

これを受けて、市としては、龍澤学館と連携し、開校に係る許認可や手続きへの支援などを行ってきた。

その結果、日本語学科については、去る9月の岩手県私立学校審議会において設置計画が正式に了承されたことから、年内にも現地検査等が予定されている。

一方で、理学療法学科については、教員や臨床実習施設の確保が難航しているほか、学生確保への懸念や実習用教室の整備及び備品調達に多額の費用を要することも明らかとなったことから、龍澤学館と協議の上、当市への設置を断念することとした。

しかし、若者の定着や交流人口増大の観点からも進学先の確保は重要であることから、高校生の進学先となる専門課程と、日本語を学んだ留学生が引き続き当市で学び就職することを視野に入れた新たな学科を開設することで同法人と合意しており、今後、具体化に向けて取り組んでまいらる。

なお、校舎となる市教育センターの改修工事については、10月末に発注した第1期工事に加え、第2期工事の所要予算を12月定例会に提案し、令和5年10月の開校に向けた整備を行ってまいらる。

今後は、当市で学ぶ学生の特性やライフスタイルを勘案しながら、住居の確保や奨学金などの各種就学支援についても検討を急ぎ、引き続き龍澤学館と連携して、開校に向け万全を期してまいらる。